

ペルー エルニーニョはハスアボカドの生産に影響を与えるか

FreshPlaza 2023年7月5日

ペルーの国立気象水文局(Senamhi)は、沿岸のエルニーニョ現象とそれが原因で予想される平年よりも高い気温が、アボカド等ペルーの主要農産物に影響を与える可能性があるとして警告している。

より具体的には、エルニーニョが大雨を引き起こす北海岸では、高い気温が果実の成熟段階に影響する可能性がある。中央部地域及び南部の海岸地帯では、エルニーニョは輸出用果実の品質に影響を与える可能性がある。中央部と南部の山岳地帯では、アボカドの成熟段階に影響を与える病害虫の発生しやすい条件となる可能性がある。

ハスアボカド生産者協会(ProHass)のフアン・カルロス・パレデス会長は、このセクターの中規模及び大規模の輸出業者は、エルニーニョの影響を防ぐため、すでに排水路の整備や農業管理システムの導入などの対策を講じていると指摘した。ただし、北部県の小規模なアボカド生産者は、予想される大雨の影響を受ける可能性があり、一方、ため池やダム、灌漑システムを整備していない南部地域の生産者は、干ばつの影響を受ける可能性がある。

同会長は、アボカド農園は気候変動への適応力が高いものの、降雨による道路の封鎖やインフラの損傷は、アボカド農業に大きな影響を与えると述べた。

出典: gestion.pe

(関連記事)ペルー 2023年のハスアボカド輸出予測を引き下げ

FreshPlaza 2023年7月6日

ペルーのハスアボカド生産者協会(ProHass)は、3月には63万トン以上と推定していたこの出荷期間中のハスアボカドの予想輸出量を、59万8,344トンに見直した。

これは、ペルーが2022年に輸出した55万4,299トンより8%だけ多く、同協会の数か月前までの14%増加するとの推定を下回っており、ペルーが長年経験してきた成長の鈍化を反映している。

ProHassのフアン・カルロス・パレデス会長によると、この減少は、2022年のラニーニャ現象の影響により収穫中の果実が10~15%小さいためである。

同協会は、2024年の輸出量は10%近く増加すると予想している。2023年については、同協会は国内外の需要の伸びは年間6%から8%にとどまると予想している。

現在、ペルーでは約6万132ヘクタールでハスアボカドが栽培されており、合計2万3,675の生産者によって管理されている。ペルーはメキシコに次ぐ世界第2位のハスアボカド輸出国であり、実際、夏にヨーロッパで消費されるアボカドの80%はペルー産である。

出典: larepublica.pe